

重要課題(マテリアリティ)

基本的な考え方

当社は「国際的視野に立ち、活気に溢れ、信頼される企業体質をもとに、魅力ある商品を提供することによって社会に貢献する」を経営理念とし、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献することが、中長期的な企業価値の向上につながると考えています。その実現に向け2030年ビジョンでは「事業とモノづくりの変革で収益力を向上させESG経営を実践」を基本方針に定め、取り組むべき重要課題を特定し、具体的な目標としてKPIを設定しました。これらに取り組むことで、2030年ビジョンの実現と社会課題の解決を目指します。

重要課題の特定プロセス



推進体制

当社のサステナビリティ活動は、経営陣によるリーダーシップ、コーポレート部門による横串機能、カンパニーによる事業軸が一体となって取り組みを推進しています。各種業務推進会議ではKPIの目標達成に向けた実行計画や進捗を管理しており、定期的に経営トップミーティング・取締役会に報告しています。経営トップミーティングでは取り組みの進捗および、社会動向や環境変化を踏まえて、定期的にレビューを行い、マテリアリティやKPIの見直しと経営方針/計画/戦略への反映を議論・審議し、重要な事項は取締役会に付議のうえ、決定しています。

重要課題の特定プロセス



重要課題と主要KPIの達成年度・目標

重要課題	主要KPI	達成年度	目標
気候変動	CO ₂ 排出量削減率(2013年度比)	2030	▲50%
資源循環	副産物埋立量	2030	2,000t
調達	グリーン調達ガイドライン周知率	毎年	100%
技術革新	特許出願件数	毎年	50件以上
サイバーセキュリティ	サイバー攻撃による重大インシデント件数	毎年	ゼロ件
品質・生産	品質ロス削減率(2018年度比)	2030	▲80%
安全・健康	全災害度数率	2030	0.0
働き方・人材育成	社員エンゲージメント	2030	4.0点
多様性	女性管理職数	2030	10人以上
地域共生	中新田緑地の生物指標種	2030	35種
人権	階層別研修での人権教育実施率	毎年	100%
法令遵守	重大な法令違反	毎年	ゼロ件



気候変動

関連するSDGs



- 主な取り組み
- ・製造工程の効率化などによる徹底した省エネ活動の推進
 - ・自社発電を含めた太陽光発電などのグリーンエネルギー活用の推進
 - ・高効率な電気炉や水素、アンモニアの活用など革新技術の開発

KPI	目標	2022年度実績
CO ₂ 排出量削減率	2030年:50%削減(2013年度比) 2050年:カーボンニュートラル達成	22%
再生可能エネルギー導入	2030年:再エネ100%導入1工場	再生エネ100%導入 5工場



資源循環

関連するSDGs



- 主な取り組み
- ・副産物(スラグ、ダスト、スケールなど)のリサイクル推進
 - ・SOx、NOx排出の低水準維持の取り組み推進

KPI	2022年度目標	実績
副産物埋立量	2,500t/年	2,507t/年 (副産物リサイクル率99.0%)
大気汚染物質排出量(NOx、SOx)	規制値の8割以上排出 0件	0件 (総排出量NOx118t/年 SOx1.85t/年)
工場排水汚濁負荷量(COD、窒素、リン)	規制値の8割以上排出 0件	0件 (COD9.80t/年 窒素4.98t/年 リン0.54t/年)



調達

関連するSDGs



- 主な取り組み
- ・「グリーン調達ガイドライン」に基づく取引先と連携した環境保全活動の推進(環境配慮製品の優先購入など)

KPI	2022年度目標	実績
グリーン調達ガイドライン周知率	100%	100%
下請法違反件数	0件	0件



技術革新

関連するSDGs



- 主な取り組み
- ・経営指針の1つである「事業の変革で豊かな社会を創造」の実現に向けた事業戦略と一体化した研究開発の推進
 - ・AIなど高度情報化・解析技術と戦略的特許出願による開発基盤強化

KPI	実績
研究開発費	44.0億円 (前年度実績43.4億円)

KPI	2022年度目標	実績
特許出願件数	50件	64件



サイバーセキュリティ

関連するSDGs



- 主な取り組み
- ・トヨタグループ共通のオールトヨタセキュリティガイドライン(ATSG)などに基づいた、社内体制の整備・ルールの周知・教育・点検によるセキュリティ強化

KPI	2022年度目標	実績
サイバー攻撃による重大インシデント	0件	0件
ATSG (Ver8) 遵守率(愛知製鋼単体)	90%	90%
ATPSG (Ver2) 対応件数(愛知製鋼単体)	79%	79%



重要課題(マテリアリティ)

品質・生産

主な取り組み

- ・IATF16949認証取得を通じた品質マネジメントシステムのさらなる強化
- ・クレームの真因追求強化による再発防止策の徹底
- ・TPSをベースとした製品をタイムリーに安定供給できる生産基盤の構築



電動車の増加に伴う旺盛な需要にこたえるため2022年10月に竣工した電子部品の第3ライン



社内で実施した品質マネジメントシステムISO9001の内部監査員向け教育の様子

関連するSDGs

品質	2022年度目標	実績
KPI		
総クレーム件数(客先流出不具合)	8件	19件
クレーム再発件数(客先流出不具合)	3件	0件
品質ロス削減率(2018年度比)	▲35%	▲38%

生産	実績
粗鋼生産量	891千t (前年度実績884千t)
鍛造品生産量	225千t (前年度実績261千t)
電子部品生産量	39.8百万セット (前年度実績36.9百万セット)

▶P33

安全・健康

主な取り組み

- ・安全性リスク評価に基づく災害を発生させない「場づくり」
- ・類似災害の撲滅に向けた再発防止の推進
- ・心と体の健康維持・増進に向けた健康経営の推進



安全教育施設「伝心館」での研修



経験者にヒアリングし、安全性・機能性・快適性にこだわって開発したマタニティワーキングウェア

関連するSDGs

安全	2022年度目標	実績
KPI		
重大災害件数	0件	0件
全災害度数率	0.60%	0.93%
火災・爆発件数	0件	1件

健康	2022年度目標	実績
KPI		
傷病休業日数率	0.50%	1.44%
メンタル起因による傷病休業日数	0.17%	0.38%
適正体重超過者率(BMI25以上)	27%	32%

▶P30,31

働き方・人材育成

主な取り組み

- ・仕事とライフイベントを両立できる柔軟な勤務制度の整備
- ・多様な社員がモチベーション高く、活躍できる職場環境、人事制度の整備・導入
- ・職種別、階層別教育体系に基づくOff-JT教育の充実、経営戦略と連動したスキルアップ・能力開発への投資促進

関連するSDGs

働き方	2022年度目標	実績
KPI		
年次有給休暇取得日数	20.0日	17.4日
1人あたりの残業時間(スタッフ系)	11.4時間	13.4時間
社員満足度(5点満点)	(—)	(—) ^{※1}
職場マネジメント調査(肯定回答率)	79.0%	80.7%
現場カンサート(肯定回答率)	71.0%	71.0%

人材育成	実績
1人あたり教育投資額	24千円 (前年度実績21千円)
1人あたり教育時間	10.9時間 (前年度実績14.9時間)

▶P27

多様性

主な取り組み 同上

関連するSDGs

多様性	2022年度目標	実績
KPI		
女性管理職数	4名	4名
60歳以上の社員満足度(5点満点)	(—)	(—) ^{※1}
障がい者雇用率	2.3%	3.0%

▶P27

地域共生

主な取り組み

- ・工場緑地の一部である「中新田緑地(約2万㎡)」における自然生態系の構築など生物多様性保全・自然共生活動の推進
- ・社会貢献活動を通じた地域社会とのコミュニケーション活動

関連するSDGs

地域共生	2022年度目標	実績
KPI		
中新田指標種	23種	19種
ボランティア参加人数(延べ)	10,000名	6,581名

▶P38

人権

主な取り組み

- ・「愛知製鋼グループ企業行動指針」に則った人権を尊重した事業活動
- ・社員教育を通じた高い倫理観と人権意識の醸成
- ・内部通報制度など人権保護体制の整備・強化

関連するSDGs

人権	2022年度目標	実績
KPI		
職種別研修での人権教育実施率	100%	100%

▶P21

法令遵守

主な取り組み

- ・「愛知製鋼グループ企業行動指針」に基づく高い倫理観の共有、研修・講演会などによる意識・知識の向上、違反を発生させない社内体制の継続的な強化

関連するSDGs

法令遵守	2022年度目標	実績
KPI		
重大な法令違反	0件	0件
内部統制システム重要な不備	0件	0件

▶P62

※1 隔年調査のため22年度は目標・実績ともに無し